学校番号	3001

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	歴史総合（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会的事象について地理的に理解し、問題について考え行動する力をつける。

・世界の諸地域の環境や文化を学び、地球的課題への取り組みについて学ぶ。

・持続可能な社会の在り方について考える

・教科書は毎時、持参する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
18 世紀以降の日本と世界の歴史的事象（産業革命、明治維新、世界大戦、冷戦、グローバリゼーションなど）に関する基礎的な知識を身に着け、それを時代や地理的背景と関連付けて理解できる。
【思考力、判断力、表現力等】
歴史的事象を複数の視点から多角的に考察し、因果関係や背景を分析できる。歴史上の課題（例：植民地主義、戦争、経済格差）について異なる立場を踏まえて公平に判断し、自分の意見を論理的かつ適切に説明・主張できる。
【学びに向かう力、人間性等】
資料や ICT 等を活用して自ら課題を探求し、仲間と共同しながら学習を進める。意欲や責任感、国際理解や平和共生への姿勢を醸成する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c: 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課 題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れ て構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身につけている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとすると ともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国 や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。

知識・技能，思考・判断・表現，主体的に学習に取り組む態度の３つの観点別評価の規準に従って、総合的に評価を行います。原則として４ 回の定期考査・小テスト・プリント(ノート)提出・ディスカッションや発表などのグループワーク，Forms でのリアクション，出席状況等の評価を基本とします。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	近代化と私たち・	1 18 世紀のアジアの繁栄 2 産業革命と市民革命 3イギリスの繁栄と国民国家の拡大 4アジア諸国の変貌と日本の開国 5帝国主義の発展 近代化と現代的な諸課題	a: 18 世紀のヨーロッパ・東アジア・日本の社会や文化，アジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b: 18 世紀のヨーロッパ・東アジア・日本の社会や文化，アジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現すること。 c: 粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 。	定期テスト ノート 小テスト Formsなどのリアクション	定期テスト ノート	観察 ノート
2学期	国際秩序の変化や大衆化と私たち	1 経済危機と第二次世界大戦 2第二次世界大戦の戦後処理と新たな国際秩序の形成 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	a: アメリカで起きた世界恐慌がもたらした影響・各国の解決策・イタリア，ドイツのファスズム・日本の中国侵略や戦時体制に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b：アメリカで起きた世界恐慌がもたらした影響・各国の解決策・イタリア，ドイツの	定期テスト ノート 小テスト Formsなどのリアクション	定期テスト ノート	観察 ノート

3学期			ファスズム・日本の中国侵略や戦時体制に関する問い対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている c: アメリカで起きた世界恐慌がもたらした影響・各国の解決策・イタリア，ドイツのファスズム・日本の中国侵略や戦時体制に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている			
	グローバル化と私たち	1冷戦と脱植民地化・ 第三世界の台頭 2国際秩序の変容と 21世紀の世界・現代的な諸課題の形成	a: 第二次世界大戦後の植民地独立，米ソ両陣営の動揺や日本の 55 年体制の確立，アジアとの外交に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b:植民地独立，米ソ両陣営の動揺や日本の 55 年体制の確立，アジアとの外交に関する問い対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c: 第二次世界大戦後の植民地独立，米ソ両陣営の動揺や日本の 55 年体制の確立，アジアとの外交に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	定期テスト ノート 小テスト Formsなどのリアクション	定期テスト ノート	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度